

病気やケガの治療に欠かせない薬、生活に身近なものです。薬と上手に付き合えているでしょうか？薬は正しく使って期待通りの効果が出るもので、間違った使用方法ではかえって害となることもあります。これを機に、薬との付き合い方を見直してみましょう。

ポリファーマシーとは

ポリファーマシーとは「多剤服用」を意味し、ポリは複数、ファーマシーは調剤を表します。単に服用する薬の数が多いだけでなく、多くの薬の服用のため、副作用や体に悪い影響が起こることで、近年問題となっています。特に、有害事象の発生頻度は6種類以上の服薬で上昇するとされています。



高齢になると、肝臓や腎臓の働きが弱くなり、薬の分解や体外への排出に時間がかかります。そのため、高齢者では、多くの薬を使用すると副作用がおこりやすいだけでなく、重症化しやすくなるとも言われており、特に注意が必要です。服用する薬の種類が多い場合は、医師や薬剤師に相談してみましょう。

ポリファーマシーを防ぐには…

-  薬の重複や飲み合わせをチェックしてもらえよう、かかりつけの薬局を決める
-  処方された薬を正しく記録しておくため、医療機関や薬局には必ずお薬手帳を持参する。また、お薬手帳は複数持たず、一つにまとめる
-  医師の診断や処方を信頼し、むやみに薬を欲しがらない



薬のもらい方を一工夫して便利にお得に♪

リフィル処方箋

症状が安定している人を対象として、医師が認めた一定期間内に最大3回まで反復利用できる処方箋です。

薬をもらうために医療機関を受診する回数を減らすことができ、医療費も節約されます。ご自身の体調に照らし合わせて、リフィル処方箋の活用を検討してみましょう。

(リフィル処方箋が利用できない薬があるほか、医師が処方せん「リフィル可」の欄にチェックを入れなかった場合は利用できません)

例：リフィル可 (3回)

ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、新薬(先発医薬品)と同じ有効成分を使い、品質、効果、安全性が同等とされているものです。

製品によって、服用しやすいように大きさや味・香りなどが改良されたものもあります。新薬に比べ、値段が5割程度、中にはそれ以上安くなるものもあるため、自己負担額や医療費抑制につながります。

また、AG(オーソライズドジェネリック)と呼ばれる原薬、添加物および製法等が新薬と同一のジェネリック医薬品もあります。自分にあったお薬を選択できると良いですね。